

廃校利活用 お正月を楽しもう！

分野：地域交流、課外活動

代表者：工学部マテリアル工学科 2年 渡邊 永

連携先

ひたちなか市役所

ちからこぶの会

顧問教員

伊藤 哲司（人文社会科学部・教授）

参加者

渡邊 永（工学部マテリアル工学科 2年）

菅原 慎人（工学部機械工学科 2年）

角 俊輔（工学部マテリアル工学科 2年）

井上 智敦（農学部地域総合農学科 1年）

水上 雄介（農学部地域総合農学科 1年）

佐藤 紗耶（農学部地域総合農学科 1年）

海老根 弘人（人文社会学部現代社会学
1年）

夔田 雄介（工学部機械工学科 1年）

プロジェクトの概要

廃校となった場所を利活用し、多世代交流や地域活性化を行うことを目的として本プロジェクトは2019年1月20日に廃校となった旧県立那珂湊第二高等学校跡地で行った。プロジェクトの内容としては冬に行うということで来客の方たちに温かい食べ物を提供してもらいたいと思いひたちなか漁村センターでとれた魚を使った鍋料理を提供することと子供たちが楽しめるように親子で一緒に凧を作り、広い校庭で凧上げを行うことである。

プロジェクト実行当日までに我々はひたちなか市役所の職員とは企画の内容について話し合い本プロジェクトが実現できるように内容を詰めていった。那珂湊第三小学校PTAグループのちからこぶの会という薪式の鍋を行っている団体とは連絡を取り合うことで本番当日に使う大鍋の提供や鍋の炊き出しの手伝いなどの協力を得ることができた。集客については子供からお年寄りまで幅広い年齢層の方たちに来てもらえるように那珂湊第二高等学校の付近に住んでいる家庭や那珂湊第一、第二、第三小

学校ビラを配り、宣伝をすることで集客を行った。

プロジェクトの成果報告

プロジェクト当日はチラシを見てきた家族連れや高齢者など幅広い年齢層が来ることにより目的としていた多世代交流を達成することができた。また、プロジェクト当日までに様々な団体と連絡を取りあって連携することで我々以外にも様々な団体が廃校である那珂湊第二高等学校を利活用していることが分かった。このような活動をしている団体と連携することで新しい廃校の利活用の仕方などを見つけ、考えを共有していき、共に活動していくことでより良い廃校の利活用ができると思った。我々以外にも廃校利活用している団体と知り合えたこともこのプロジェクトで得られた成果の一つである。

今回、小学校にビラをたくさん配ったが、廃校の付近に住んでいる家庭にはあまり配ることができなかった。そのため、近所から足を運んできてくれた人は少なかった。まわりから多種多様な年齢層を呼ぶことも大事だがそれ以上にその廃校を一番身近に感じている近所の方々への意識を忘れてはいけなかったと感じた。今後の課題としては、廃校を身近に感じている近所の方たちに意識を向けていきたいと思う。廃校に住んでいる人々が廃校利活用に目を向けられるように廃校で様々な企画を行い、廃校の存在をより身近に感じてもらえるよう尽力していきたい。

